

余剰の次亜塩素酸水
介護施設に無償提供

酪農業「角山」

【江別】市内の酪農業「Kaim (カーム) 角山」は28日、市内の介護施設に次亜塩素酸水が無償提供する と明らかにした。同社は搾乳機器の消毒などのため次亜塩素酸水を独自に製造。毎日余剰分が発生しており、30日以降、各施設に配布する。

同社では1日当たり最大600Lの次亜塩素酸水の余剰分が発生。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、介護施設で消毒液が不足していることを知り、余剰分の活用を市に申し出した。

川口谷仁社長は28日、市役所で三好昇市長に無償提供の目録を手渡した。市はすでに施設側の希望を取り



三好市長に目録を手渡す
川口谷社長（右）

まとめて同社に伝えており、同社は各施設に直接提供する。川口谷社長は「終息するまで続けたい」、三好市長は「大切にに使わせてもらいたい」と話した。市には同日、都内のアスベスト除去業者からPCR検査ブースキットも寄贈された。

（河田俊樹）